

4月に入り、和倉温泉全域が通水し、輪島市一部地域の水道復旧エリアも少しずつ増えてきた。しかし、家屋倒壊や住宅内の配管復旧に遅れがあるため、各家庭の蛇口から水が出る日はまだ時間がかかる。甚大な被害を受けた輪島市、珠洲市では新聞の個別配達が開かれ、災害ボランティアの宿泊施設や仮設住宅の着工など、復旧に向けて動き始めている。また、天皇、皇后両陛下が2度にわたり被災各地をご訪問され、被災者を見舞われた。

そして、4月3日には、台湾東部沖で大きな地震が発生した。災害は、いつどこで起きてもおかしくない。日々の生活の中で少しでも、各々が防災に目を向ける時間を取って欲しい。

今回は、津波被害が甚大であった珠洲市の一部をご報告する。浅野太鼓楽器店 浅野正規専務ご協力のもと現地の太鼓関係者に連絡を取ってもらった。

*

*

*

2024年3月12日(火)

須須守護神太鼓保存会(珠洲市三崎町寺家)

震災から3ヶ月余りが過ぎ、金沢から輪島まで向かう応急道路が出来はじめているが、反対車線は崩れ落ちたまま。今回訪れた珠洲市三崎町は、能登半島の先端に近い場所であり、地震当日には高さ4.7mの津波が襲ったといわれている。海沿いのほとんどの家屋は1階部分がつぶれて、車が建物の下敷きになっていた。奥には、破壊された木材と家具が泥にまみれ溜っている。





須須守護神太鼓保存会の泉 秀達さんと、三崎町寺家のキリコの一つが保管されている須須神社の境内で待ち合わせをする。能登半島は日本海航路の拠点として独自の文化を育み、数多くの祭礼が行われてきた。その中で代表的なものが、キリコ祭りと総称される巨大な灯籠神事である。三崎町寺家には、塩津上野、下出、川上本町、大浜組 4 地区に各々のキリコが保管されている。毎年9月に開催される「寺家キリコまつり」では、塩津上野が保有している、能登で最大級のキリコといわれる高さ16.5m、重さ4t、屋根の大きさは畳12枚分ほどのキリコも練り歩く。今回は、泉さんのお声がけのもと、下出、川上本町の太鼓を確認させていただいた。

さて、待ち合わせ場所である須須神社は約2000年前に創建されたと伝えられ、日本海側一帯の守護神として信仰されてきた歴史的な由緒ある神社である。今回の震災により鳥居は倒壊し、石畳がひび割れ、社殿も被害を受けた。境内にあるキリコ倉庫は倒壊を免れたが、祭りに使う太鼓の一つが地震による雨漏りによって革が腐食していた。



次に、神社内に預けてある同団体の太鼓を確認しに行く。保管してあった太鼓は、地震による落下や衝撃で、2台の太鼓に破損が見つかった。当財団では、被災地の太鼓団体が所有している楽器(キリコに付属されている太鼓を除く)の修理・新調に関して、今後も支援を行っていく。尚、悪天候のため、今回は全ての太鼓を運ぶことは見合わせた。支援金額に関しては、次回の報告書で記載する。



その後、下出、川上本町の避難所に保管してある太鼓の無事を確認しに行く。再訪することを約束し、他の太鼓団体にも声をかけてもらうようお願いした。

帰り際、この地区は高齢者が多い中、全員が無事だったと伺う。東日本大震災をきっかけに、毎年津波を想定した避難訓練を全員で行っていた。震災後はしばらく陸路が寸断され孤立状態が続いたが、住民達の手でいち早く応急道路を確保した地域でもある。

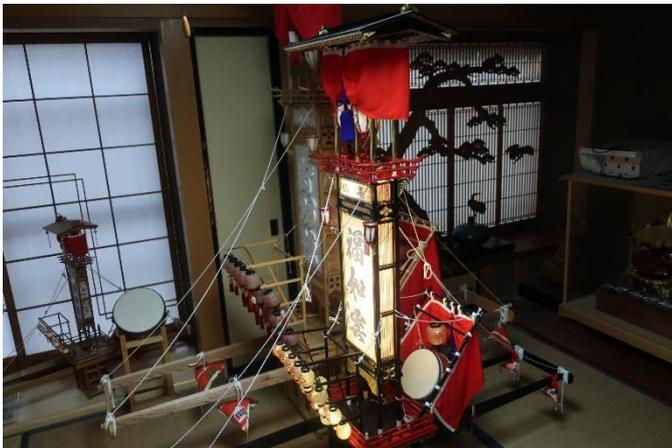


(珠洲市宝立町春日野・鵜飼)

「農事組合法人こうぼうアグリ」の宮崎宣夫代表理事のご自宅に伺う。和室に座るとめまいを感じる。傾いた家を、いつ修復できるのか見通しが立たない状況であるという。

訪問した宝立町は、能登キリコ祭りを代表する「宝立七夕キリコ祭り」が毎年8月に開催される場所である。津波と地震火災があり、甚大な被害を受けた。珠洲市の水道復旧は5月下旬と言われており、4月1日時点では断水復旧率は8パーセントと報じられている。現在、この地区の多くの方々が市外に避難しており、人口減少や高齢化がとまらない中、地震で転出に拍車がかかっている。能登に拠点を置く産業や企業にとって、生活するための環境が戻らなければ、働き手の転出は止まらない。結果的に、会社が潰れると、町から人が消えてしまう。

「文化は受け継いでいきたい。でも今は生活を守ることで精一杯だ。」とお話しになり、ご自宅にあるミニチュアのキリコを見せて下さった。非常に精巧に作られている。能登半島では、夏から秋にかけて200カ所でキリコ祭りが行われ、その数は700基から800基といわれている。それぞれの地区のキリコの特徴や祭りの様子を話して下さる時の宮崎さんの表情に、暗闇を明るく照らすキリコの灯が見えた気がした。



宮崎さんのご案内で、鵜飼地区へと車を走らせる。写真では道路が見えるが、道が塞がってまだ通れない場所が多くある。海沿いに近づくにつれ、津波の恐ろしさを目の当たりにする。家や倉庫は、土台しか残っていない箇所もあり、Googleの衛星写真を見て初めて元の町の姿を知った。





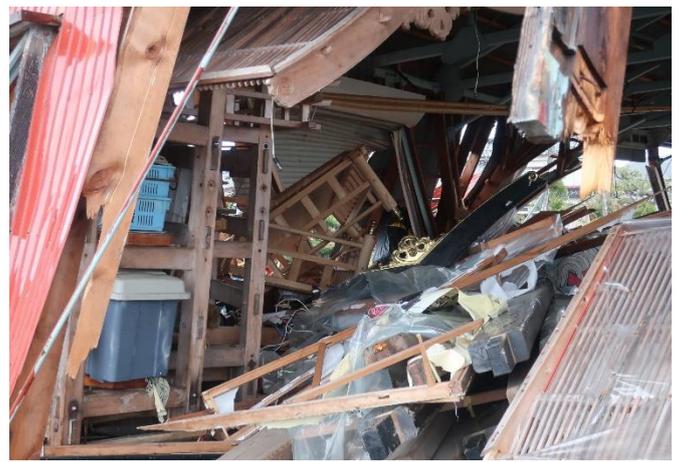
生活を営んできた場所から温かさが失われ、人の声は聞こえない。砂浜には白線の入ったアスファルトの一部が流され、道路であっただろう場所には汚泥に混ざり、生活用品や釘などの危険な物も落ちている。キリコや太鼓の保管場所は見る影もない。



キリコ保管場所①(中乃釜七夕奉燈収納庫)土台だけが残る



キリコ保管場所②(上中ノ釜集会所)



キリコ保管場所③鉄骨造りの赤い倉庫

「生きてたんか！」突如、宮崎さんに声をかける男性がいた。同じ地区の方で、三ヶ月ぶりにお互いの無事を確認された。その方からも震災当時の話を伺う。地震発生から、津波襲来まで3分もかからなかった。多くの木造家屋の1階が潰れ、誰かを助ける間もなく津波がきた。潰れた家屋が道を塞ぎ、無我夢中で逃げ道を探した。日没が迫る中、道がない場所は、屋根をつたって逃げた。

ただ呆然と話を聞いていた私に、「祭りは復活させたい。でも、今、新しいキリコや太鼓が新調できたとしても、どうしようもない。それでも、故郷のキリコ祭りは子どもたちには継承していかなきゃいけない。どうか支援は長期的な目でみて欲しい。その時はどうかお願いします。」と雨の中、頭を下げられた。



津波で壊れた車が並ぶ



形が変わってしまった見附島が見える(中央上の奥)

能登半島は、自然とともに生きる人々の豊かな民俗文化が育まれてきた場所である。そこには様々な形で太鼓の音が響く。「盆暮れに帰省できなくても、必ず祭りだけは帰る」これが、能登の魂である。このように培ってきた人と人のつながりが、震災でも迅速な助け合いに繋がったと現地の方から話を伺う。

昨年はコロナによる自粛から開放され、4年ぶりに通常開催となった祭りが数多くあった。中止が続くことは、担い手の減少だけでなく、祭りへの気概が削がれてしまうことを、町民たちは経験している。そこへ今回の震災が起きた。道具一式が壊れ、巡行路も整わない。それ以前に、生活を取り戻すのにも時間がかかる。

多くの祭礼が中止を余儀なくされている中、3月下旬に明るいニュースが飛び込んできた。キリコ祭りの先陣を切るといわれる、石川県無形民俗文化財「宇出津キリコ祭り(通称あばれ祭り)」がクラウドファンディングを開始し、7月に開催されると報じられた。また、七尾市では、同じく石川県無形民俗文化財であり、七尾四大祭り、全国有数の火祭りと言われる「能登島向田の火祭り」が開催される。通常開催か規模を縮小するかは未定であるが、被災地に希望を与える祭りであることは間違いない。

(公財)日本太鼓財団 交通費代支援 計算表(4月分)

団体名	金額
輪島和太鼓虎之介	10,336
御神事太鼓保存会	4,637
合計	14,973

(2024年4月30日)

*

*

*

引き続き多くの方々からご寄付を頂いており、寄付金の累計額は4月25日現在で、12,649,482円となりました。

心より御礼申し上げます。

お預かりした寄付金は大切に使ってまいります。

収支計算書(4/25 現在) (単位:円)

収入		金額	属性	備考
1/5	全九州太鼓連合	1,000,000	地区	
1/6	関八州太鼓連合	100,000	地区	
1/9	東北太鼓連合	300,000	地区	
1/18	浅野太鼓楽器店	1,000,000	賛助	
1/27	河合 光夫	10,000	その他	シニアコンクール出場者
1/29	福井県太鼓連盟	30,000	支部	
1/29	松本 弘昭	35,000	その他	シニアコンクール出場者
2/1	東京都支部	100,000	会員	
2/2	櫛引 秀明	50,000	その他	シニアコンクール出場者
2/2	浅野 義幸	100,000	その他	浅野太鼓楽器店 17 代当主
2/6	岡山県支部	110,000	支部	
2/7	宮城県太鼓連絡協議会	150,000	支部	
2/8	北海道道東支部	30,000	支部	
2/9	茨城県支部	95,000	支部	
2/13	千葉県支部	100,000	支部	
2/13	岐阜県太鼓連盟	100,000	支部	
2/13	岐阜県太鼓連盟獅子の会	50,000	その他	国文祭ゲスト団体
2/13	全九州太鼓連合	2,805,701	地区	
2/14	神奈川県支部	50,000	支部	
2/16	佐々城 清	1,000,000	本部	常務理事
2/16	高野 右吉	10,000	その他	副会長
2/16	宮城県太鼓連絡協議会	20,000	支部	
2/16	滋賀県支部	50,000	支部	
2/18	兵庫県支部	200,000	支部	
2/26	日本太鼓財団事務局	143,000	本部	
2/29	静岡県支部	100,000	支部	
3/1	奈良県支部	162,000	支部	
3/4	台湾太鼓協会	500,000	その他	
3/7	北海道道北支部	132,628	支部	
3/11	宮本卯之助商店	1,000,000	賛助	
3/14	栃木県支部	106,984	支部	
3/15	群馬県支部	98,000	支部	
3/18	和歌山県支部	130,000	支部	
3/18	北海道道央支部	25,000	支部	
3/19	長野県支部	540,537	支部	
3/21	西岡 知則	30,000	その他	シニアコンクール出場者

3/21	愛知県支部	257,632	支部	
3/26	NPO 法人てほへ	150,000	その他	志多らグループ会社
3/27	(有)志多ら	350,000	その他	
3/27	ブラジル太鼓協会	440,000	その他	
3/28	西川恵美子	50,000	その他	技術委員
3/28	北海道道南支部	150,000	支部	
3/29	NPO 東京都太鼓連合	100,000	その他	
3/29	日本太鼓財団東京都支部	500,000	支部	
3/29	日本太鼓財団三重県支部	10,000	支部	
3/29	日本太鼓財団島根県支部	100,000	支部	
4/19	ツルカタイコフェスティバル	50,000		
4/25	岐阜県太鼓連盟	28,000	支部	

計 12,649,482

支出		金額		備考欄
1/11	輪島支援物資	121,741		
1/19	穴水/能登町/志賀町	130,080		
1/27	志賀町/輪島	18,415		
2/8	名舟町	54,780		
2/11	輪島	28,534		
1-2月	各チーム交通費	67,714		
3/28	御陣乗太鼓保存会	250,000		
4/1	パチ	20,185		
4/3	横断幕	38,500		
3月	各チーム交通費	105,152		
4月	各チーム交通費	14,973		

計 850,074

収支差額		11,799,408
------	--	------------